



新富士ロータリークラブ会報

IMAGINE ROTARY

— イマジン ロータリー —

R I 会長 江ノ上・ジョージ
第2620地区ガバナー 浅原 諒 蔵
新富士 R.C. 会長 潮 来 克 士
幹事 斉 藤 寛 明

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎月第2・3・4火曜日
12:30～13:30



第1447回例会 (2023. 3. 14)



司 会 渡邊 哲男会場監督

ソング 「奉仕の理想」

四つのテスト唱和・本年度新富士 R C テーマ唱和

R I テーマ唱和

会長挨拶

7日(火)の公益財団法人米山梅吉記念館での移動例会お疲れ様でした。初めて訪問した私には鈴木運営委員のご説明とビデオ上映、そして学芸員による館内の案内はとても興味深く拝聴し、改めて米山梅吉翁の偉大さを知ることが出来ました。館内を回る途中で鈴木氏と話して、近隣の運営委員が当番制で当館に来ていること、庭木の剪定などは近隣の庭園管理業の会員のボランティアで行われていることを知り、多大な貢献がされていることを知りました。



また、10日(金)には、「ロータリー希望の風奨学金」支援《東日本大震災チャリティコンサート》に初めて出掛けました。ピアノは宮谷理香さん、ゲストフルートが山形由美さんの二人のコンサートでした。このプログラムは、2011年3月11日の東日本大震災によって震災孤児となった子供たちが大学や専門学校を卒業するまで奨学金を支給することを目的として2011年11月にロータリークラブ有志が発足したものだそうです。当時0歳児が卒業するまでには22年間要すると言うことで2033年3月まで続けるそうです。一人5万円、現在約120名の奨学生で年間約600万円が奨学金として支払われているということです。

奨学生を代表して当時10歳で、今年大学を卒業して4月から社会人となる上野さんが挨拶しました。まずは、奨学金のお礼を述べ、その後、自身の生い立ちな

どを話しました。当時は岩手県山田町の高台の小学校にいて無事だったこと、父親は行方不明だったこと、ずっと皆で探し回ったこと、1年が経ち、合同慰霊祭で父親が亡くなった扱いになっていたことに納得がいかなかったこと、段々と学校で、家を失った子とそうでない子、親族が亡くなった子とそうでない子との間に溝が出来たこと、中学からは母と二人で別の町に移り生活したこと、数年後に母が病気で亡くなり叔母の家に引き取られたこと、奨学金で助けてもらって高校大学と進学できたこと、先月に父親の13回忌を行ったことなどを話してくれました。

山田町は未だ復興できておらず、マスコミなどで東北の復興と言われると違和感を覚えることなども話してくれました。これからも復興に向けて多くの皆様の支援をお願いしたいと結んでいました。

頑張れという気持ちとこんなことを自分たちで始めてしまうロータリーって凄いなと改めて思いました。

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1447回	14	8	6		暫定57.14%

《本日の欠席者》

高木 宏君	堀井 健治君	稲葉 邦文君
久保田元久君	渡邊 勝英君	渡邊 哲男君

私のスマイル

川村 武君 WBCでの日本チームの活躍すばらしいですね。優勝もありそうですね！楽しみです。

小山 哲君 侍ジャパン、快進撃すばらしい。
和田 三郎君 春らしい季節になりました。

プログラム予定

潮来 克士君 桜の開花がそろそろです。今年は早そうです。楽しい春が近づいてきましたね。

木村 憲司君 WBC大会の日本チームが予選を4戦全勝で通り、その後が楽しくなりました。

本多 脩身君 米山梅吉記念館、前に一度うかがった時と違って広くて立派な建物でした。案内していただいた女性の話に聞きほれました。

高橋 孝行君 WBC、日本代表選手、大谷選手、感動ありがとう。



▲出席報告
小山 哲 出席委員



▲スマイル報告
和田三郎 親睦委員

クラブ協議会

P E T S会長エレクト 研修セミナーに参加して

川村 武 会員



3月12日、第2620地区2022-23年度会長エレクト研修セミナーに、次期幹事の本多さんと参加して参りました。

次期国際ロータリークラブ会長エレクトは、“ゴードンR.マッキナリー”さんで、英国スコットランドの方です。2023-24年度RI会長テーマとして、『CREATE HOPE in the WORLD ～世界に希望を生み出そう～』を発表されました。

第2620地区次期2023-24ガバナーエレクトは、浜松ハーモニーロータリークラブの中村皇積さんです。

現在のテーマ『イマジンロータリー』で見えたのは希望、残念ながらウクライナの地にまだ平和は訪れていません。世界は自然災害やコロナとの闘い、貧困や水不足、幾つもの深刻な問題に直面していますが、“希望”は私達に行動を起こす勇気を与えてくれます。

次期会長幹事の方々は“世界に希望を生み出そう”から何を思い描き、中村ガバナーエレクトの地域運営方針“継続”の重要性が大事であると共に、これまでのリーダーのアイディアが取り組みを“前進”させることが大事とのことでした。

細かいことは他にもありますが、まずはこの2つのテーマについて検討し、7月までに当クラブの次年度に対しての方針を決めていこうと考えております。

